2026年6月26日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 g u m i
代 表 者 名 代表取締役社長 川 本 寛 之
(コード番号：3903 東証プライム市場)
問 合 せ 先 取 締 役 本 吉 誠
(TEL. 03-5358-5322)

AIを活用した暗号資産運用の開始に関するお知らせ

当社は、社内で保有する暗号資産の運用パフォーマンス向上を第一段階としつつ、外部に向けた「暗号資産AI運用サービス」の開発および提供を視野に入れ、最新のAI技術を活用するための暗号資産運用を開始しましたので、お知らせいたします。

１．本件に関する背景・目的

ネオクリプト事業では、これまで多様な暗号資産の保有・運用、ノード運営等を行ってきました。24時間365日稼働し、ボラティリティ（価格変動）が高い暗号資産市場において、継続的に運用パフォーマンスを向上させるためには、膨大なデータを迅速に処理し、機動的な意思決定を行う体制が求められます。昨今、自律的なデータ処理や推論が可能な「AIエージェント」等の次世代AI技術が実用化のフェーズに入りつつあることから、これらを当社の暗号資産運用に組み込むことで、新たな収益機会の創出とリスク管理の高度化を図ることができると判断いたしました。さらに、自社運用で培った知見と最先端のAI技術を統合したシステムは、多様化する暗号資産市場において高い需要が見込めることから、将来的なAI運用ツールとしての事業化・外部提供を最終的な目的として、本運用を開始するに至りました。

なお、本取り組みにおいては、gumi AI Labs（米国AIスタートアップを対象としたVC）等、当社グループ内にて得られる最新の技術的知見も活用していく方針です。

２．本運用のテーマ

本運用に際しては、以下を主たるテーマとして運用を進めてまいります。

①多角的かつリアルタイムの市場分析:過去の価格データだけでなく、市場ニュースやプロジェクトの動向などの多角的な情報をAIで迅速に処理・分析し、リアルタイムで市場に対する的確なビューを導きます。

②運用プロセスの高度化・自動化:ディーリングを自動化し、判断ミスや市場機会の取り漏らしを防ぎます。

３．今後の展望

当社は、人の手を介することなくトランザクションを実行できる分散型金融の世界観とのシナジーや、現実世界で起こるあらゆる事象を24時間365日リアルタイムで運用に反映する必要があるという現状に鑑みると、暗号資産というアセットはAIによる運用との親和性が非常に高く、今後トレーディングの主体はAIに移行されていくと考えております。

現に、伝統的金融領域においても、AIによる全自動運用商品は人気を博しており、AIが顧客資産を預かってアクティブ運用をするサービスが広がりつつあります。2028年には、日本国内における暗号資産ETFの解禁が見込まれている中、その後のアクティブ運用系商品の創出・台頭を見据えると、AIの活用はその中でも本命の研究開発領域になると考えております。

当社は、2018年に暗号資産領域へVC投資により事業参入してから、多くの運用手段を実地検証することで運用ノウハウを蓄積してきました。これらの知見とAI等の先端技術を繋ぎ込むことで、革新的な金融サービスの提供を目指します。

以 上